

北九州市議会議員 大久保むが 市政レポート

MUGA TIMES

No. 31 2017年
春号

【発行日】2017年4月27日
【発行人・編集人】大久保むが

3期目も全力で頑張ります！



本年1月29日に行われました北九州市議会議員選挙におきまして、3期目の当選を果たさせて頂きました。

選挙中にお約束させて頂きました交差点の改良や、将来への負担軽減へつながるコンクリート舗装、子育て支援施策の充実などしっかりと提案を行い、実現に向けて全力を尽くして参ります。

今回の市議会議員選挙では、投票率が前回は更に下回り39.2%となってしまいました。この要因は様々考えられますが、政治は誰がやっても同じではないということ、そして、有権者の声がきちんと市政へ届けられるよう、私自身この低投票率を改善するための取り組みが3期目の大きな課題であると考えています。

また、人口減少が続く本市において、今後数年間でこの傾向に歯止めをかけることが出来るのか、新しい街の賑わいをどう作り出せるのか、大きな転機に差し掛かっています。

暴力団の排除が劇的に進展し、「50歳から住みたい街 第1位」や「子育てしやすい街 第1位」に選ばれるなど、本市のイメージや取り巻く環境が変化しつつある中で、これを大きな機会と捉え、機を逃すことがないように私自身も学びを深めて参ります。

『原点は市民の幸せ。』引き続き「身の丈の政治」というスタンスを貫き、北九州市のために、北九州市民の皆様のために3期目の4年間、期待に応えられるよう全力で取り組んで参ります！

平成29年2月定例会 総予算は約5,628億円

平成29年度の予算を審議する2月定例会(2月22日～3月29日)が開催されました。

市は、今年度予算を“住みよいまち・北九州市発信予算”と銘打ち、新年度予算で5つの柱を掲げて取り組みを展開することとしています。



新年度予算で掲げられた5つの柱

- ① 新しいひとの流れをつくり、女性や若者が定着するまちの創出
- ② 学校施設等公共施設の老朽化対策の推進
- ③ 本市の強みを活かし、魅力あるしごとを創出
- ④ 安心して子どもを産み育てることのできるまちの創出
- ⑤ 誰もが安心して暮らせるまちの創出



【主な予算の内訳】

○人件費 1116億円(前年度比+72.3%増)

⇒これまで福岡県が負担していた小中学校教職員の給与負担の権限移譲が行われることになり、増額となりました。

○扶助費 1359億円(前年度比±0%)

○公債費 675億円(前年度比-1.2%)

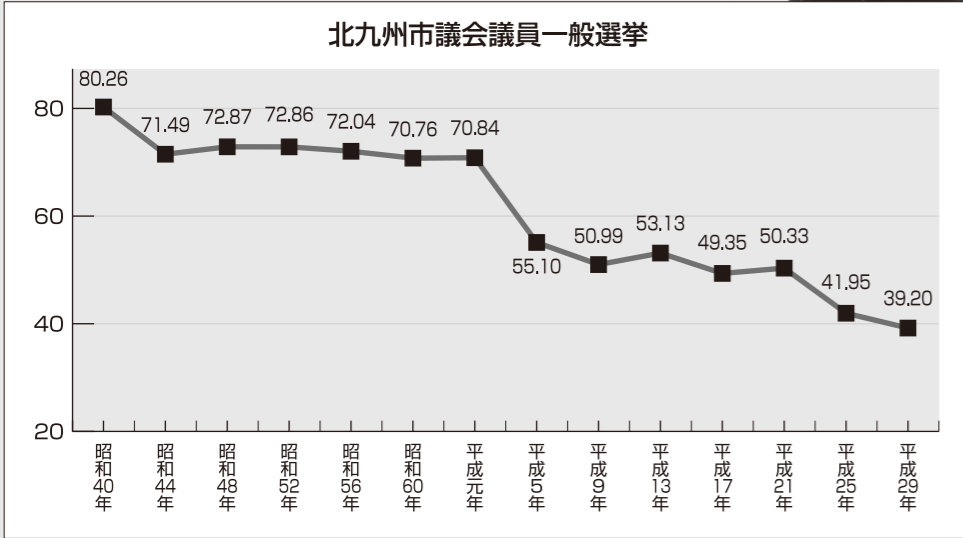
○投資的経費 518億円(前年度比-25.1%)

⇒スタジアム整備にかかる事業費が終了したことや、国の2月補正予算を前倒して計上したことにより、減少となりました。実質的に2月の補正予算と合わせた投資的経費は総額680億円で前年度より11億円の減少となります。

2月定例会 注目の質疑

低投票率対策を考える ～なぜ投票率は下がり続けるのか～

本年1月に行われた北九州市議会議員選挙は、39.2%という市議会議員選挙史上最低の投票率を記録しました。過去の市議会議員選挙の投票率は表のとおりです。



私も含め、市議会ではこれまでに何度もこの低投票率についての議論が行われてきましたが、有効な対策が打てないまま現在に至っています。

これまでに行われてきた低投票率対策

本市では選挙管理委員会がこれまで様々な広報活動を行い、選挙啓発を行ってきました。直近では期日前投票所を、北九州市立大学の北方キャンパスや今次市議選においてはひびきのキャンパスへ設置し、若年層へ向けた啓発を行ってきました。しかし、昨年の参議院選挙で行われた、北九州市立大学北方キャンパスの期日前投票所での投票者数は123人(2日間)、今次北九州市議会議員選挙ひびきのキャンパスでの期日前投票所の投票者数は27人(1日間)と、いろいろな取り組みにチャレンジすること自体はいいことだと思いますが、限られた人を対象にするのではなく、多くの有権者が投票をより良く、より身近に行える方法を考えなければならない結果であると思います。

また、投票後に希望すれば受け取ることが出来る「投票済証」を持参すれば、ジュースやアイスクリームなどの割引サービスを行う飲食店などもあり、市民の中からも投票行為を啓発する動きがあります。しかし今現在、行政としてこうした民間事業者の動きは歓迎しているものの、公平公正な選挙を考えた時にこの動きを支援するという事に関しては慎重な姿勢をとっています。

投票率低下の原因は何か？

そもそもなぜ投票率が低下しているのか？これについては政治不信や無関心、趣味の多様化、など様々な説や分析もあるようですが、明確にこれが原因だと思われることが明らかになっていません。だからこそ有効な対策が打てていない、というのが現実なようです。下の表をご覧ください。

年代	平成9年 (20年前の市議選)	平成17年 (12年前の市議選)	平成29年 (今次市議選)
10代			28.90%
20代	24.61%	27.29%	17.94%
30代	41.63%	36.97%	27.45%
40代	48.80%	47.19%	34.85%
50代	59.88%	50.58%	42.52%
60代	70.31%	66.80%	51.90%
70代	63.36%	69.26%	57.94%
80代		49.75%	42.38%

この表からも分かる通り、各年代の投票率は大きな傾向として低下しているというのを見て取れます。しかし興味深いことに、20年前に30代だった人の投票率は40代、50代になっても、また同様に40代だった人が50代、60代となってもあまり変化がなく、一定の割合を保ったまま推移する傾向を示しています。

逆にみると、このまま20代の低い投票率が改善されなければ、全体の投票率も30%を大きく割り込むのではないかという可能性もあり、民主主義の根幹をなす投票率の下での選挙結果が、本当に民意を汲んでいるのかと思われる水準になることへの危機感を覚えます。

考えうるあらゆる手段を投入する覚悟が必要

低投票率の原因は不明確であることは先述のとおりです。だからこそ、私も以前議会で提案したショッピングセンターなどへの期日前投票所の設置であったり、例えば移動投票所であったり、議会内でも取り上げられた選挙公報の発行、さらに電子投票制度の導入、実績が上がっている若年層への主権者教育など、考えうるあらゆる手段を投入すべきでないかと考えます。

民主主義を維持するためのコストとしては決して高くない！

少々評論家っぽくなりますが、様々な思想、政策、想いを受け止める制度や、幅広い声を議会や行政へと届ける議員や候補者、自由を保障する権利の根本に民主主義というものがあり、それを担保するものが選挙ではないでしょうか。日本を離れば一党独裁の国だったり、自由な言論も保障されず、公平公正な選挙も行われていない国もあります。こうした国に比べれば私たちの国ははるかに自由で民主的な状態にあります。だからこそ私たちの国にあるこの価値観が、国民が平和に生きていく上で国家の安全保障と同様に極めて大事なものであると考えます。

そういう意味では、投票への啓発や投票所を増やしたり、選挙公報を発行するなどの費用が、民主主義を守るためのコストとして果たして高いのか、安いのか。もちろん無駄遣いは排除していかねばなりませんが、私たちが保有している尊い価値観を守るための費用として決して高いものではないと思います。行政は選挙にかかる費用を単なる一つの事業にかかるコストとみなすのではなく、民主主義を守るために必要な費用と考えて財源を確保すべきではないかと考えます。

平成29年度 予算のポイント!!

公共施設の老朽化対策

学校や公共施設などで相次いで天井や外壁のコンクリートの落下など危険な箇所が発見されました。これらを受け、本年度予算では既存の学校および公共施設が安全な状態で利用できるよう改修計画をたて、施設と外壁の改修を実施するとしています。

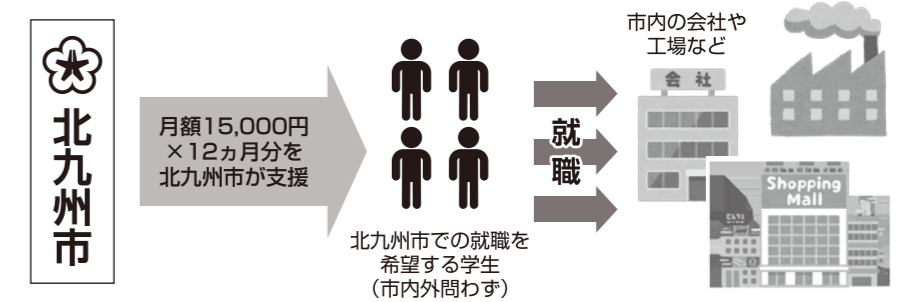
学校以外の公共施設で改修を行う予定の施設

- 市民センター
- モノレール停留場
- 市営住宅
- 若松市民会館・若松生涯学習センター
- レインボープラザ
- 青少年施設

北九州市未来人材支援基金設置事業

本市で中長期的に住み働き、人材を全国から呼び込み確保する目的で、市内企業への就職と定住を条件に奨学金の返済を支援する事業です。この事業は市から2億円、企業から6000万円の寄付金で賄う計画です。

北九州市未来人材支援基金事業のイメージ



小中学校等空調設備整備事業

小学校の普通教室にエアコンを整備するもので、平成30年に整備予定の小学校22校分の設計を実施します。

小学校・中学校・特別支援学校の夏季及び冬季休業日が、平成31年度から見直されます。

次期学習指導要領の全面実施を小学校が平成32年、中学校が平成33年に控え、教育の質の向上を図ることができるよう、授業日数や授業時間の確保が課題となっていました。また、インフルエンザ等感染症の流行による学級閉鎖や台風などでの休校による授業時数の減少に余裕をもって対応できる状況になかったため、学識経験者などからの意見を取りまとめ、授業日数と時間を確保するために夏季及び冬季休業日の見直しを行い、夏休みを短縮することとなりました。小中学校の休業日は、平成31年度から以下のように見直されます。

夏季	冬季
現行 7月21日～8月31日 ↓ 7月21日～8月25日 授業日数：4～5日増 授業時間：21～30時間増	現行 12月25日～1月7日 ↓ 12月24日～1月7日 授業日数：変化なし又は1日減 授業時間：変化なし又は6時間減

一・二・三月活動記録

二月

- 三日 会派団会議
- 四日 折尾西小学校 創立五十周年記念式典
- 五日 党福岡県九区総支部常任幹事会 古賀ゆきひと新春の集い
- 十日 北九州市表彰 議員総会
- 十一日 穴生少年野球クラブ卒団式
- 十五日 平成二十九年度 インター受け入れ
- 十六日 市議会二月定例会会派別勉強会
- 十七日 市議会二月定例会会派別勉強会
- 十八日 党福岡県九区総支部常任幹事会 子ども食堂視察
- 二十一日 北九州市議会二月定例会開会
- 二十二日 本会議
- 二十四日 本会議
- 二十五日 労働組合春季スポーツ大会
- 二十七日 党福岡県九区総支部 定期大会
- 二十八日 各陳情対応のため現地視察
- 二十九日 党福岡県連青年委員会

三月

- 一日 八幡市政一〇〇周年記念式典
- 二日 市議会本会議(代表質疑)
- 三日 労働組合ホールディング大会
- 四日 党福岡県連青年委員会 学生部企画
- 五日 市議会本会議(代表質疑)
- 六日 市議会本会議(一般質疑)
- 七日 市議会本会議(一般質疑)
- 八日 市議会本会議(一般質疑)
- 九日 市議会本会議(一般質疑)
- 十日 市議会常任委員会 (教育文化委員会)
- 十一日 陳情対応のため現地視察
- 十二日 足原市民センター 子ども食堂視察
- 十三日 みんなの職場体験交流会 会議
- 十四日 市議会常任委員会 (教育文化委員会)
- 十五日 市議会常任委員会初日
- 十六日 予算特別委員会
- 十七日 予算特別委員会
- 十八日 党福岡県九区総支部常任幹事会 陳情対応のため現地視察
- 十九日 講演会傍聴
- 二十日 予算特別委員会
- 二十一日 予算特別委員会
- 二十二日 市議会常任委員会
- 二十三日 市議会常任委員会 (教育文化委員会)
- 二十四日 予算特別委員会
- 二十五日 市議会常任委員会
- 二十六日 市議会常任委員会
- 二十七日 市議会常任委員会
- 二十八日 市議会常任委員会
- 二十九日 市議会常任委員会
- 三十日 北九州市議会二月定例会閉会
- 三十一日 党福岡県連広報委員会

キタQに
総我夢中!!
 No.31 紙一枚の努力の巻



私が議員になったばかりの頃

言われた言葉です

毎日紙一枚の努力を続けると...

やがて500枚、1000枚と積み重なって

厚く強く、なっていく

与えて下さった皆さんにお返しすべく頑張ります!

続けていくことの大切さ! 3期目のチャンスを

積み重なった厚みは、実はここにも!

応援団活動支援のお願い

皆様へ

大久保むが応援団では、大久保むがの活動支援のため、応援会費(個人寄付)のご協力をお願い致しております。ご協力を賜れる方は、下記お振込口座まで、お手続きくだされば幸いです。今後とも、ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

活動支援会費(個人寄付) 会費: 1口 1,000円~

■ゆうちょ銀行

記号: 17410
 口座番号: 83659011
 名前: オオクボムガオウエンダン
 (他の金融機関からお振り込みの場合)
 店名: 七四八(ナナヨンハチ)
 店番: 748 種目: 普通預金
 口座番号: 83365901
 名前: オオクボムガオウエンダン

■福岡びびき信用金庫 折尾支店

口座番号: 1202105
 種目: 普通
 名前: オオクボムガオウエンダン

※政治資金規正法により政治家個人は企業・団体からカンパ(寄付)を受けることができません。ご協力頂ける場合は「個人としての寄付」をお願いします。

※1年間1万円を超える金額につきましては所定の手続きにより、確定申告の際に所得控除を受ける事ができます。

~千里の道も一歩から~

皆様から頂いた相談が少しずつ改善・前進しています!



「交差点から北九州をかえよう!」が実現へ向け一歩

永犬丸ダイレックス前の交差点に信号機が設置されました!

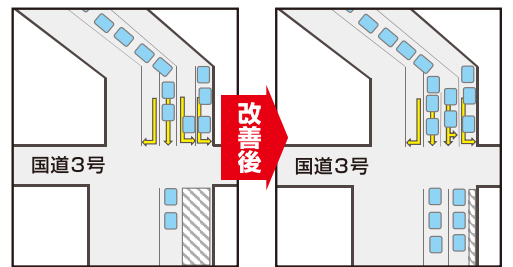
昨年の春から取り組んできました、永犬丸ダイレックス前の交差点に、昨年12月12日から信号機が設置されました。関係者の方々のご協力のお蔭で、検討開始からわずかな期間で設置が実現しました。

この信号の設置以降の3カ月では、事故の数は1件と明らかに減少しているとのこと。



筒井町交差点跨線橋から出てくる車線を変更して渋滞解消を!

一昨年から取り組みを続けている、八幡西区の国道3号線 筒井町交差点の改良について、現在、警察当局と北九州市による話し合いが進んでいるとの事です。私も引き続き早期にまとも、改良工事に入れるよう取り組んでまいります。



九州女子大学前のバス停が一新!

「バス停がボロボロでどうにかならないか!？」という声から始まった九州女子大学前のバス停修繕事業が終わりました。バス停は九州女子大学の学生さんと一緒にデザインされ、若々しく明るいバス停へと生まれ変わりました。

色を塗り替えただけで全くイメージが変わった、と周辺の方々や利用者の方にも好評で、周辺環境の改善に一役買ったのではないかと思います。

修繕前



修繕後



北九州市議会議員 大久保むがプロフィール

昭和63年枝光小学校卒業。平成3年枝光北中学校卒業。平成6年福岡県立北筑高等学校卒業。平成10年九州国際大学国際学部卒業後、平成12年から元衆議院議員・北橋健治氏の秘書に。その後、さらなる政治の勉強をするため、平成18年北九州市立大学・法学研究科に入学、政策科学を学ぶ。勉学のかたわら、参議院議員・大久保勉氏の秘書を平成19年まで務める。平成20年3月、北九州市立大学・法学研究科を卒業。同時にヘルパー2級取得。平成21年北九州市議会議員に初当選、総務財政委員会に所属。2期目前半に環境建設委員長に就任。現在は教育文化委員会に所属。民進党福岡県第9区総支部常任幹事、NPO法人「KID's Work」スタッフ。平成26年2月、防災士資格を取得。スポーツ鬼ごっこ検定3級。日本カップ協会認定普及指導員。



大久保むが事務所

〒807-0831 北九州市八幡西区則松2-9-2 Tel 093-863-5530 Fax 093-863-5531

http://www.mugamuga.net/ E-mail yahatanishi@mugamuga.net